

学校教育自己診断の結果と分析（令和4年1・2月実施分）

	保護者質問	回答			生徒質問	回答	
		肯定的	否定的			肯定的	否定的
1	子どもは学校に行くのを楽しみにしている	82.1	17.9	1	学校に行くのが楽しい	85.0	15.1
2	学校の雰囲気がよく、子どもたちは生き生きしている	88.3	11.7	2	先生は努力したことを認めてくれる	93.9	6.2
3	先生は子どもの意見や考えを大切にしている	93.4	6.7	3	先生は私たちの意見や考えを大切にしてくれる	93.0	6.9
4	子どもの心身の健康について、気軽に先生に相談できる	83.3	16.8	4	悩みや相談に親身になって応じてくれる先生が多い	85.2	14.8
5	学校の生徒指導の方針に共感できる	89.0	11.0	5	先生は他の人に知られたくない秘密を守ってくれる	88.8	11.2
6	学校はいじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる	87.1	12.9	6	先生はいじめなどの私たちが困っていることについて真剣に対応してくれる	91.9	8.1
7	学校は子どもに生命を大切にできる心や社会ルールを守る態度を育てようとしている	91.0	9.0	7	学校での生活は将来社会に出てから役に立つ	92.7	7.3
8	体育祭や宿泊行事などの学校行事は、子どもが積極的に参加できるよう工夫されている	95.7	4.3	8	体育祭などの学校行事はみんなが楽しく行っている	93.9	6.1
9	生徒会活動は活発である	89.9	10.2	9	生徒会活動は活発である	93.3	6.7
10	部活動は活発である	82.8	17.2	10	部活動は楽しい	83.5	16.5
11	学校は、落ち着いた雰囲気の中で授業を行っている	83.2	16.8	11	落ち着いた雰囲気の中で授業を受けることができる	71.2	28.8
12	子どもは授業が楽しく分かりやすいと言っている	67.9	32.0	12	授業は分かりやすく楽しい	87.7	12.3
13	学校は授業改善など、学力向上のための取り組みを行っている	77.4	22.7	13	教え方を工夫している先生が多い	91.0	8.9
14	先生は子どもの評価を適切・公平に行っている	87.5	12.5	14	通知表は自分の学習成果を正しく表せている	93.1	7.0
15	学校は進路や職業などについて適切な指導を行っている	83.2	16.8	15	将来の進路や生き方について考える機会がある	92.7	7.3
16	学校は人権を尊重し、豊かな心を持った生徒を育てようとしている	87.5	12.5	16	授業で分からないことについて、先生に質問しやすい	82.1	17.9
17	学校はタブレットなどのICT機器を効果的に使用している	83.2	16.8	17	タブレットやプロジェクターなど、ICTを使った授業は分かりやすい	87.5	12.6
18	学校運営に校長のリーダーシップが発揮されている	90.3	9.8	18	校長先生の話は興味深く分かりやすい	81.6	18.4
19	学校は安全面に配慮した施設・設備の管理をしている	91.4	8.6	19	地震や火災などが起こった場合にどうするのかをよく知らされている	91.4	8.7
20	学校はメールやホームページ、お便り等で適切な情報発信を行っている	97.2	2.7	20	学校便り、学年通信、学級通信、保健便りなどのお便りは興味深く分かりやすい	86.6	13.4

■ほぼすべての質問に対して肯定回答が80%以上となっている中で、以下の3項目だけ80%を下回っている。

- 保護者 子どもは授業が楽しく分かりやすいと言っている 67.9% (否定回答32.0%)  
学校は授業改善など、学力向上のための取り組みを行っている 77.4% (否定回答22.7%)
- 生徒 落ち着いた雰囲気の中で授業を受けることができる 71.2% (否定回答28.8%)

■上記の中でも、「落ち着いた雰囲気の中で授業」については、保護者に比べて生徒の肯定的回答が10ポイントも低くなっている。コロナ禍で学校に来ることがなくなり、生徒の話や雰囲気から「実態以上によく感じている」保護者の数値を「いいこと」と捉えるかどうかは判断が難しい。また、「授業が分かりやすい」については、逆の現象が起っており、生徒の肯定的回答より保護者の肯定的回答が20ポイントも低い。生徒の「授業が分かりにくい」といった会話やつぶやきが保護者へは実態以上(生徒の「思い」以上)に重く伝わっているのではないかとと思われる。

■行事を縮小するのではなく、目的を再確認し、熱中症や感染症への対策を講じながら、工夫して取り組めたことが「学校行事」への肯定的回答に結びついたと思われる。次年度以降も生徒の主体的エネルギーの発露となる学校行事へと発展させていきたい。

■学校からの発信については、保護者の肯定的回答では特に高い結果であった。学校だより・学年や学級、保健だよりやその他の発行物に加え、メール配信などのタイムリーな発信も好評であったと捉えている。ホームページについては、意欲的に更新と拡充に努めた。詳細な意見を求めるアンケートを実施したいと考えている。